

日刊 勤労千葉

86. 2. 26
No. 2177

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五六（公衆）〇四七二二二七二〇七

スト含む万全の 闘争体制へ

「3・3移行」阻止！

「61・3ダイ改」
「業務移管」

※8回支部代

地上勤先陣を 25日より噴法襲撃突入

勤労千葉は二月二十四日、第八回支部代表者会議を開催し、第二波ストライキで切り拓いた新たな地平を確認するとともに、さらなる組織強化をもって三月三日「61・3ダイ改」移行阻止をストライキも辞さず闘いぬくことを突破口に、「61・11ダイ改」阻止、「62・4・1分割・民営化」10万人首切り阻止へむけた闘いを強化することを確認した。

「ダイ改」一方強行を押し
もどした一二月「順法」

「線見」「2・15第二波スト」

勤労千葉は業務移管・検修合理化を中心とする三月大合理化に対し、一月二十九日の順法闘争から始まる線見阻止行動、2・15ストライキを一糸乱れず驚異的な団結力・組織力で闘いぬいてきた。

この闘いは敵を動揺させ、味方を鼓舞激励し、なによりも国労の深部から勤労千葉に呼応して闘う部分を生み出し、国労が組織として三月ダイ改を片仕切り妥結できない状況をつくりだしている。

ストライキを含むあらゆる
闘いで「3・3ダイ改」を
ふきとばせ

「61・3ダイ改」をめぐる情勢は、最大のヤマ場をむかえている。

当局は、二月七日の団体交渉において、話しにならない「修正提案」を行い、妥結をせまったが、われわれの闘いは国労をして妥結できない状況においこんでおり、追いつめられた当局は、なしくずし一方実施を狙っている。

まさに、あと数日の闘いに一切がかかっており、最終局面の闘いと団結を堅持し、勇気をふりしぼって闘うことにより「61・3」で三万人、「61・11」で八万人の大合理化攻撃を打ち破り、分割・民

営化粉碎の展望を切り拓こうではないか。

当面する取り組みについて

1. 当局が「61・3ダイ改」に関わる団体交渉を一方実施または他労組と片仕切りした場合は、その翌日から再度戦術を強化する準備体制を確立することとし、当面、ダイ改にからむ事前作業に対し徹底した非協力でのぞむとともに、二月二十五日以降、地上勤務者の順法闘争を強化する。
2. 二月十七日以降の線見阻止闘争について「指示第二九号」の取り組みの万全を期す。
3. 今次ストライキを中心とする勤労千葉の闘いの経過と意義、今後の闘いの展望と決意等について意志統一を図るべく、全組合員を対象とする「対話オクルグ」を実施する。
4. 家族ぐるみの闘いを強化するため、「家族会総会」または「懇談会」を早急に開催する。
5. 「61・3ダイ改」―業務移管の三月三日移行阻止へ向けて、ストライキも含むあらゆる戦術を行使できる準備体制を確立すること。

成功させよう！
家族懇談会
3/6(木) 稲毛地区
3/7(金) 宮崎地区
3/9(日) 榎津地区